

## 令和8年1月27日開催 定例美祢市教育委員会会議録

**開催日時** 令和8年1月27日（水）午後1時30分から午後2時40分

**開催会場** 美祢市役所3階「301会議室」

<b>出席者</b>	南 順子	教育長	
<b>出席委員</b>	金子 明美	教育長職務代理者	
	松本 孝志	委員	
	井上 敏雄	委員	
	谷岡奈美子	委員	4人
<b>欠席委員</b>			なし

<b>出席教育委員会事務局職員</b>	千々松雅幸	事務局長兼生涯学習スポーツ推進課長	
	田中 美香	〃 教育総務課長	
	中島 幹晃	〃 学校教育課長	
	神田 高宏	〃 文化財保護課長及び世界ジオパーク推進課長	
	渡壁 誠	〃 学校教育課主幹	
	倉増 裕	〃 教育総務課総務班長	6人

（午後1時30分）

### 1 開会

**事務局長 千々松 雅幸**

皆さんこんにちは。

ただいまから、令和8年1月の定例教育委員会会議を開催いたします。

これよりの進行は教育長よろしくお願いいたします。

### 教育長挨拶

**教育長 南 順子**

改めまして、皆さんこんにちは。

本日は大変お寒い中、また、お忙しい中、令和8年1月の定例教育委員会会議にお集まりをいただきまして、ありがとうございます。

はじめに、すでに一月が過ぎようとしています、新しい年、令和8年が始

まりました。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

今年は午年です。一般的に、十二支の午は、飛躍や挑戦の象徴と言われていますが、今年、60年に一度の丙午(ひのえうま)です。動物に当てはめると「赤い馬」「ものすごく速く走る馬」で、一段と人々の情熱やエネルギーが高まりやすい特別な年だそうです。「赤い馬の年」は、世の中の移り変わりが激しいといわれていますので、世界の早い変化に、臨機応変に対応していく力が大切な年なのかもしれません。

美祢市にとっても、今年、4月に「ユネスコ世界ジオパーク」への承認が決議される記念すべき年です。

Mine 秋吉台ジオパークが、ユネスコ世界ジオパークに認定されるということは、国際的に認められた貴重な地質・地形遺産が、美祢市に存在するという市民のシビックプライドの醸成はもちろんのこと、市民の皆さんや子ども達が世界を知り、世界とつながる契機となり、グローバル社会において、多様な価値観を持つ人と協働し、未来を切り開く力を養うことにもつながってきます。

ユネスコ世界ジオパークへの認定が、美祢市の未来を担う子ども達が幸せに暮らせる未来を残していくために、さらに、「地球に寄り添い、人とつながり、未来の在り方を考え行動する社会の実現」を目指して、より充実した活動につながっていきたくと考えております。

ところで、余談ではございますが、本日1月27日は、上野動物園で生まれた4歳の双子のジャイアントパンダ、シャオシャオとレイレイが中国に返還される日です。

今、国内にいるパンダはこの2頭だけで、新たにパンダが日本に来る予定はないそうです。

パンダは、昨年日本中を震撼させたクマ科の仲間ですが、環境に適応して独自の進化を遂げた動物で、愛くるしい可愛さで人々を魅了するパンダがいなくなることは、日本の経済にとっても大きな損失だそうですが、絶滅の恐れがある「レッドリスト」に記載されているパンダにとって、将来の繁殖を考えると相手の多い中国に帰った方が、チャンスに恵まれやすいという意見もあります。

1972年の日中国交正常化により、カンカンとランランの2頭のパンダが初来日して53年。動物園でパンダに会えることを楽しみにしている子ども達や多くの日本人にとっても、一刻も早い「パンダ外交」の正常化を願わずにはいられません。

さて、令和8年教育委員会といたしましては、「ひとが育つ ひとが輝く 教育の美祢」の基本理念のもと、特に、学校教育においては、いじめゼロ・不登校ゼロのウェルビーイングな学校づくりの充実をさらに目指します。

不登校を生まない学校づくりに大切なことは、子ども達が安心して毎日を過ごすために、お互いに認め合い、助け合い、尊重し合う雰囲気が、学校や教室

の中にあること、この温かい空気を意識的に作っていくことが何より重要であると考えます。そして、その要は、教師の姿勢だと思えます。

教師が常に穏やかで、「笑顔」を絶やさず、一人一人の子ども達を温かく受け入れる姿勢を持ち続けられれば、教室の中に、おのずと信頼感や安心感が生まれ、日々の教師の温かいまなざしと心に響く言葉かけが、子ども達に、教室にいることの心地よさを醸成していくことにつながると思えます。

そのために必要なことは、子ども達一人一人をより深く理解しようと努め、子ども達に寄り添える教師の心の余裕ではないでしょうか。

今年度から本格的に実施される働き方改革が、教師自身の人間性や創造性・共感力を高め、教師自身のウェルビーイングを向上させることで、誰一人取り残さない、子ども達へのよりよい教育を行うという目的が達成できるよう、努めてまいりたいと思えます。

また、なんととっても本市の課題は、授業改善による学力の向上です。学習面においても、子ども達の内発的動機付け「やってみたい」という気持ちを引き出すことを大切にし、子ども達自ら主体的に関わる学びの中で、達成感や自己肯定感を味わい、学びの楽しさを実感できるよう、取組を進めていきたいと考えています。

令和8年が、美祢市内全ての児童・生徒の一人一人の笑顔が輝き、子ども達の笑い声が響き、子ども達が学校に行くのが楽しいと実感できる年になりますよう、教育委員会が一丸となって取り組んでまいりたいと思えますので、教育委員の皆様方の御指導、御鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

それでは、これからは、着座にて、進行させていただきます。

## **2 署名委員**

**教育長 南 順子**

それでは、初めに署名委員の指名をさせていただきます。

本会議につきましては、金子委員と谷岡委員をお願いいたします。

## **<両名了承>**

## **3 前回会議録の承認**

**教育長 南 順子**

前回会議録の承認につきましては、松本委員と金子委員をお願いいたします。よろしいでしょうか。

## ＜両名了承＞

### 教育長 南 順子

ありがとうございます。

## 4 教育長報告

### (1) 行事関係

#### 教育長 南 順子

次に、行事関係についての報告です。

お手元の資料、行事関係をご覧ください。

1月11日の市民会館大ホールで開催されました「二十歳の集い」には、御多用の中、教育委員の皆様方にも御臨席を賜りまして、誠にありがとうございます。

あでやかな振袖姿や初々しいスーツ姿の二十歳の皆さん142人の姿が広報2月号の表紙を飾っており、また、MYTでも、ダイジェスト版で本日は特集で再放映されたりしておりますが、市長様の式辞や御来賓の祝辞を真剣なまなざしで一生懸命聞き入っている姿、御両親や家族、地域の方々への感謝の言葉があふれた代表挨拶を聴いて、本当に頼もしく、142人の皆さんのこれからの人生が幸多きものであるよう、祈らずにはられませんでした。

1月16日の市町教育委員会教育長会議につきましては、人事にも関係しますので、次回に報告させていただきます。

## 5 報告・議案

### 教育長 南 順子

それでは、続きまして議案の方に入らせていただきます。

議案第1号、美祢市地域スポーツ文化クラブ活動体制整備推進協議会委員の委嘱及び解嘱について生涯学習スポーツ推進課、千々松課長お願いいたします。

#### 生涯学習スポーツ推進課長 千々松 雅幸

美祢市地域スポーツ文化クラブ活動体制整備推進協議会は、急速に進む少子化により、学校単位での部活動による生徒のスポーツ文化活動の機会確保が困難となっている中、子どもたちが地域の中で自分の興味に応じてスポーツや文化活動を楽しむ環境を整備するため設置しているものです。

この度、任期中の委員の変更に伴い、新たに委員に委嘱するため、教育委員会の承認を求めるものです。

なお、この度委嘱する委員の任期は、美祢市地域スポーツ文化クラブ活動体制整備推進協議会設置要綱第4条、ただし書きの規定により、前任者の残任期間

とし、委嘱日から令和9年3月31日までとするものです。

説明は以上になります。

### **教育長 南 順子**

では議案第1号につきまして質疑等があれば承りたいと思います。

よろしいでしょうか。

特にないようですので、議案第1号の質疑は終了させていただきます。

お諮りします。

議案第1号、美祢市地域スポーツ文化クラブ活動体制整備推進協議会委員の委嘱及び解嘱について説明の通りご承認いただけますでしょうか。

ご承認いただけます方は挙手をお願いいたします。

### **<全員挙手>**

### **教育長 南 順子**

はい、ありがとうございます。

全員賛成ということで承認されました。

## **6 協議報告等**

### **教育長 南 順子**

議案の審議については1件でございますので、続きまして協議報告等に移らせていただきます。

はじめに、各課からの報告をお願いいたします。

教育総務課、田中課長お願いします。

### **教育総務課長 田中 美香**

教育総務課からは総合教育会議についてでございます。

前回までの教育委員会会議において3月の教育委員会会議終了後に総合教育会議を開催するというお話が進んでおりましたが、市長のスケジュールを抑えることができましたので、予定どおり実施に向けて準備を進めていこうと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

日時は3月26日（木）、教育委員会会議終了後 15：30 からです。

今年度、4月に一度、総合教育会議を開催しましたが、谷岡委員さんにおかれては就任前になりますので、準備しました本日配布のA4の資料で、簡単に総合教育会議についてご説明いたします。

総合教育会議は、資料の裏面に該当部分のみ抜粋しております法律に基づいて市長が設けるものとなっております。

資料、表面に記載のとおり、総合教育会議は、市長と教育委員会の協議と調整の場として、互いに十分な意思疎通を図り、教育の課題やあるべき姿を共有し民意を反映した教育行政の推進を図ることを目的としています。

一般に市長は、予算の編成・執行や条例案の提出を通じて教育行政に大きな役割を担っていますが、市長と教育委員会の意思疎通が十分に取れない場合には、地域における教育課題やあるべき姿を共有できない可能性があり、総合教育会議を通じて、自由な意見交換としての協議と、教育委員会の権限と予算執行等市長の権限が、重なるものについて調和を図るという意味での調整の場でもあります。

協議と調整ということの定義は、記載のとおりです。その下には、参考までに総合教育会議の議題として協議すべきものと議題とすべきでないものの具体例をいくつか挙げております。

直近で開催しました総合教育会議は、教育大綱について、また令和5年度は小中一貫教育取組の成果と課題、部活動の地域移行についてでした。

今回、3月に開催する際の議題については、学校教育課からの「美祢市立学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画」を予定しております。

その他もう1テーマについて、意見交換できればと思いますが、事務局の案として「ジオパーク活動の推進と地域振興について」ということはいかがかかと思っています。

実際に開催するまでには、教育委員さんへの事前の打合せ等もしっかり行いたいと思っておりますので、よろしくをお願いします。

総合教育会議については、以上です。

## 教育長 南 順子

それでは今、担当の方から総合教育会議の趣旨、位置付け等につきまして、説明がございました。

まずこのことにつきまして、初めて谷岡委員さん、この度3月にご経験されるということになりますが何かご質問とかございましたら、お願いします。

よろしいでしょうか。

他の皆さん方も、よろしいでしょうか。

突然本当にプリント見てということでも申し訳ないのですが、今の説明につきましては、まず総合教育会議について、この辺りにつきましてはよろしいでしょうか。

それでは今、内容につきまして、まず開催日でございますが、3月26日の教育委員会会議が終了後、同じ部屋で15時30分からの開催ということ、このことについても教育委員の皆様方よろしゅうございますでしょうか。

大変お忙しいと思いますが、お願いいたします。

今、この協議内容につきまして1件はもうすでにお諮りしておりますけれど

も、ジオパークのことについてということで今、提案がございました。

この件につきまして、何か教育委員の皆様方から、そこに協議の具体であり協議とすべきではない事項の具体例等書いていただいておりますけれども、それも踏まえまして、ご意見、お気づき等がありましたら伺いたいと思います。

**教育長職務代理者 金子 明美**

すみません。もう一度、ジオパーク活動の？

**教育総務課長 田中 美香**

ジオパーク活動の推進と地域振興について、ということにしておりますが。

**教育長 南 順子**

一応今、金子委員さんの方から確認がございましたが、ジオパーク活動の推進と地域振興についてとかなり非常に広いものではございますが、この辺りにつきまして、何かどうぞ。

**教育総務課長 田中 美香**

神田課長さんにもお手伝いをいただいて、広いテーマですので、何か一つずつでも、テーマを委員さんで決めていただいて、そのことについてお話をさせていただくこともできますし、事前の勉強会ももちろん行いますし、谷岡委員さんも詳しいので、少し勉強のお手伝いいただいたらなというふうに思いますけれど。

一応スタイル的にはですね、この場所で、今、教育長さん座っておられるところに市長に座ってもらって、教育長入れて5人ですね、囲んでいただいて、話すようになります。

一応、全部、市長が進めます。

**教育長 南 順子**

去年になりましたけれど、令和7年度の美祿市教育大綱については非常に大きいので、その中で、ジオパークとか不登校、テーマをそれぞれ決めて、各委員さんの方からいろいろご意見等、言っていただくという形をとりました。

だから、ジオパークのことにつきましても、勉強会を開いて、どういう視点から、総合教育会議で協議をするかということについて、またいろいろ検討したいと思います。今の時点で、お考えをお聞きになられて、いや、ジオパークよりもこれが大事じゃないかとか、もしそういうことがございましたら、お願いします。今、ジオパークの活動の推進と地域振興というのは、あくまでも、この教育総務課から、事務局からの提案でございますので、教育委員の皆様方から、いや、是非こういうことについて話したいということがございましたら、ご意見をお聞かせ願いたいなと思います。

ただ、3月26日ということですので、あまり時間がありませんし、今、課長が申しましたように、事前の勉強会をまず開くということ。

そして、また、それ以後、多分また委員さんがお集まりになられてですね、今までの総合教育会議でもいろいろ委員さん同士での勉強会もあったように伺っております。日程調整等も考えた時に、やっぱり協議内容につきましては早く決めておかないと、調整がなかなか難しくなると思います。

率直なご意見、よろしく申し上げます。

#### **委員 松本 孝志**

良いかと思うのですが、ジオパーク活動の推進と地域振興、地域振興というのを、この教育委員会の中でどのようにとらえるのかなあとというのがちょっとピンとこなかったもので、はい。

#### **教育長 南 順子**

ありがとうございました。

その辺りにつきまして、事務局の方から。

#### **教育総務課長 田中 美香**

そうですね。せっかく市長と話しますので、教育委員会に関わることだけではなくて、市長部局とも絡められるように、お話ができたらなというふうに思います。

ジオパークのことだけでしたらちょっと教育委員会の中だけになってしまいますから、そこら辺の地域振興っていうのがどういうふうに絡めたらいいかっていうのを、神田課長さんに教えていただいたらと思います。すみません。

#### **教育長 南 順子**

神田課長、お願いいたします。

#### **世界ジオパーク推進課長 神田 高宏**

ジオパーク活動は、非常に幅が広いです。

小中学校の教育活動にも関わるところが非常に多いと思いますし、社会教育的なところにも関わってくるかと思えます。

出前授業等もよく行っております。直近で言いますと、後に報告したいと思うのですが、「スミイモ」というイベントを桃ノ木の露天掘り跡を活用し、開催しております。

これは、地域の皆様と一緒にやっているイベントで、すごく地域も頑張っているイベントでありまして、地域のやる気創出にも繋がっているイベントでもあるかと思えます。

その他にも、例えば健康増進部局と、ウォーキングイベント等行っておりま

す。

このように疾病予防につながるイベント等美祢市の課題解決に繋がるようなイベントを開催し、地域を元気にしていこうという面もあるかとは思いますが。

また、地域の特産品を活用したイベント等も、行っておりますので、経済効果にも繋がっていると考えております。ジオパーク活動はイベントを行うことではないのですが、いろいろやっていくことによって、地域の活性化に繋がっていけばよいと考えております。

#### **教育長 南 順子**

ありがとうございました。

今の神田課長の話につきまして何かご質問とか、また、ご提案とかがございましたらお願いします。

よろしく申し上げます。

#### **委員 井上 敏雄**

今の美祢市の課題って普通に考えたら、やはり学力の向上、県内全域で平均より下回っているのはちょっと、どうかなと思いますし、あとは不登校の問題だとは思っています。

特に、毎月見せていただく学校状況確認書を見ていると、不登校が全く減っていない状態になっているので、これが非常に大きい問題かなと思っているのですが。

この2つっていうのは、去年の春先の時に課題として挙げているので、これ以外でとなったら、先ほどの教員の話とかジオパークの話、これを広げていってもいいのかなとは思っています。

#### **教育長 南 順子**

ありがとうございました。

率直なお考えで結構ですので。

#### **委員 谷岡 奈美子**

ちょっと本当にまだよくわかっておりません。すみません。

#### **教育長 南 順子**

よろしいですか、すみません。

田中課長、お願いします。

#### **教育総務課長 田中 美香**

すみません。いきなり言ったので、大変申し訳ないです。

もしよろしければ、まだ時間がありますので、ジオパークに関する最近の資

料であったりっていうのを、集めてお送りいたしますので、ちょっと目を通していただいて、疑問点なり、お尋ねしたり、深掘りしたいところがございましたら、見ていただいたらなと思います。今日の今でなかなか難しいかもしれませんが、そういうことも視野に入れながら資料を見ていただくということで、お願いをしたいと思います。

### **教育長 南 順子**

ちょっと整理させていただきます。ということは、ジオパーク活動の推進等についての、この次の3月26日の総合教育会議の議題は、それでいいということ、まずそのことについてですね、ここはちょっと、いやまた別のがいいということになると分かりますので、まず、ジオパーク活動の推進、例えば地域振興ということ松本委員さんからもございましたけれど、結局、地域の活性化とか地域振興など、課長は少し視野を広げてと申しましたが、本当にジオパーク活動を教育の中で、しっかりやっていくことが子どもたちの学びになるということ、それが地域にだんだんと広がり、活性化には繋がってくる。そういう視点で考えていただくということで、まずは、ジオパーク活動についての議題にするという、そのことについては、教育委員の皆様方よろしいでしょうか。

これで進めていただくということで、今、課長の方から提案がありましたように、資料等の配布といいますか、お配りをしますので、資料等を見ていただいて、大体どういうことについて協議を深めるのか、どういう視点から、どなたがどのようにという、そういうことについて、どこでどういうふうにいたしましょうか。

日程的に考えると、今日ジオパークについてということは1つご了解いただいたので、その内容を委員の皆様方にしっかりと見ていただいて、ここから、総合教育会議の時に議題にしたいところを、いつ頃決めるのか、その日にちとかですね、予定については。

### **教育総務課長 田中 美香**

まだ日にちが、そうは言ってもありますので、2月の教育委員会会議終わってからも、少しお話をさせていただくことにしたいと思います。

### **教育長 南 順子**

それでいいですか。

### **教育総務課長 田中 美香**

はい、大丈夫だと思います。

### **教育長 南 順子**

2月の教育委員会会議までに資料を読んでいただいて、委員の皆様方に総合教育会議での具体的な課題とかについては、2月の教育委員会会議で、決めるということ、そういう流れで、スケジュール感でよろしいですか。

そのことについて、何かご意見があったら、はい、お願いします。

### **教育長職務代理者 金子 明美**

ある程度深めて、そして着地点をある程度決めていかなくちゃいけないってなると、ちょっと間口がやっぱり広いかなという私は感じがするのですよね。

だから、先ほど教育長さんがおっしゃったように、ジオパークを学校で子どもたちがやることによって、結局、最終的には地域の振興、そしてそれぞれの地域の活性化に繋がっていくっていうその道筋が大体、共通理解はしていると思う。

そこら辺の視点ですよね。例えばこの表題でいって、どこら辺からもうちょっと間口を絞っていくっていうところの間口の絞り方が、とても難しいと思うのですよね。

なんかちょっと結局、ここら辺で着地をすると。

だから例えば、最初のテーマであるならば、この美祿市はこの計画で進めてよろしいかどうか、じゃ行きましょう、あるいはここを修正しましょうというあたりで着地点は決まると思うのですよね。

だから、ちょっと2番目のジオパークのことはとても大きいし、社会教育とも今のこの会議っていうのはもちろん絡みがありますから。

ちょっと広いから視点をちょっとやっぱり絞るっていうのがとても大切なあと。

そして、やっぱり着地点を明確にするって辺りをやっぱりもう少し絞って、話した方が深まりという点では大切かなっていうふうなことを思いました。

以上です。

### **教育長 南 順子**

ありがとうございました。

そのあたりよろしいですか。

### **教育総務課長 田中 美香**

ちょっと広すぎてですね、ちょっとわかりにくいところもあったかと思えますので、資料の中にも、神田課長さんともお話をし、うちの方でちょこっとでも絞れば、あれですし、また委員さんが見ていただいて、ご自分で興味があるところがあれば、言っただけのような資料を作りたいなと思っております。

### **教育長 南 順子**

今、事務局から説明がありました。そういったことでよろしいでしょうか。  
では、大変すみませんがどうぞよろしくお願いいたします。  
それでは、次の方についてよろしゅうございますでしょうか。  
他に総合教育会議のことにつきまして、何かご質問とかありましたらお願い  
したいと思いますが、よろしいでしょうか。  
それでは、学校教育課の方に移らせていただきます。  
中島課長、お願いします。

## 学校教育課長 中島 幹晃

学校教育課から、今日少し多くございまして5点ほどございます。  
1つずつ概要を説明させていただきます。  
まず一番からライフデザイン交流会について、事前にお配りした資料の中に、  
スライドが上下になっていて、ミネドンがちょこちょこ印刷されているもの  
があらうかと思えます。  
今年度から、今まではキャリア学習会ということでやっておったのですが、  
子どもたちが今からの時代に、自分の生活をデザインしていく視点、自分の将  
来の幸せな生活をイメージして、主体的にデザインしていく。  
これは、ゆくゆくは美祢青嶺高校が今後、未来デザイン科という科を令和10  
年度から作ることに合致するような、名称にしておるところでございます。  
めくっていただきまして、具体ですけれども、左上のスライド、中学生がす  
べての中学生150名、中学2年生です。  
高校生は、美祢青嶺高校の機械科と普通科全部68名出てくれました。  
その下、スライドの2、右下に2とありますけれども、まずライフデザインを  
学ぶということで高校生が、先生は最初だけで、高校生が全部進行してくれて、  
高校生から進路設計の考え方を学ぶということで、右側にスライドがございま  
すが、最初高校生の方から高校生活についての説明がありました。  
その後、右下、アイスブレイクということで、やっぱりまだみんな緊張して  
いますので、中学生と高校生がグループに分かれて自己紹介とか簡単なゲーム。  
これも高校生がそれぞれ工夫して各グループで違うゲームをしてしてくれま  
した。  
その様子が1枚めくっていただいて、上下に自己紹介の様子、アイスブレイク  
の様子が載っております。  
その後少し馴染んだ後に、右側の5番、質問タイムということで、高校の授  
業日課、部活動、実際に高校での教科書等を手に取りながら、いろいろな質問  
タイムを持つことができました。  
ざっくりした内容については以上ですが、めくっていただきまして、この中  
学生の反応といたしまして、左下、高校生の具体的な様子が見られて、意識が  
高まったとか、高校生としては、中学生にそういう影響を与えられたっていう  
ことで手応えを感じたとか、右側、先生方からの反応で3つ目ぐらいにございま

すが、説明を受けるばかりではなくて、対話を通して自分で考える、そういうことがよかったとかですね。

一番下になりますが、今までの進路指導というのは、今、世の中にあるものから選ぶっていうようなことだったのですが、考え続けて更新していく、新たな仕事を作っていくことも含めてですね、そういうことでヒントが出たというように、一番最後のページのスライドにございますが、それを一番下に書いてありますが、地域の高校を起点にして、中学2年生は全部集まってですね、そういう交流会が持てたということが大きな一歩だったと思っております。

これも早速、来年度の実施が決定しております、さらに良いものにしていきたいと思っておりますのでございます。

#### **教育長 南 順子**

今、課長の方から説明がございましたが、今の交流会の説明をお聞きになって何かご質問とかご意見、ご感想等がありましたらお願いできたらと思います。

よろしいですか。

お願いいたします。

#### **教育長職務代理者 金子 明美**

実際にいろんなことを尋ねたり、そして、それについて答えていただくということで、中学生にとっても高校生にとっても、とてもいい交流ができた有意義な時間だったのだなっていうのが今お話を聞きながら思いました。

以上です。

#### **教育長 南 順子**

ありがとうございました。

他の委員の皆様方からも何かご感想とかがありましたら。

はい。

松本委員お願いいたします。

#### **委員 松本 孝志**

今ありましたけれど、取り組みとしては、とてもいわゆる本当の進路学習に繋がっていくものだなという感じを持ちました。

具体的には高校生が一体どのような、どういう考えを持って自分たちの進路を切り開いていこうと考えているかっていうそういう話を実際に聞きたいなと。

中学生に対してどういうふうな話をしたのかなっていうのは大変興味が湧きました。

#### **教育長 南 順子**

ありがとうございました。  
何かその辺りいいですか。

#### **学校教育課長 中島 幹晃**

具体的な記録までは取ってないのですが。

最初に集まった全体会の場で高校生の各科の代表の生徒が、自分がどういう気持ちで進路選択をし、今何をもってどういう学びをしている、今の中学生のうちに、こういったことはぜひやっておいて欲しいみたいなメッセージを送ったりとかですね。

そういう高校生ならではの視点で、私一番よかったと思うのは、高校生を前面に先生が当然最初だけはするのですが、あとはもう高校生がどんどん進めて、高校生が語ってくれたっていうところがスッと子どもたちも入っていた様子がありましたので、またそのあたりを大切に、内容をよくしていきたいと思っています。

#### **教育長 南 順子**

よろしゅうございますでしょうか。

ありがとうございました。

また来年度もということでございますので、じっくりご資料ご覧になられてお気づき等がありましたら、また次回の教育委員会会議でもお話いただければと思います。

それでは一旦このライフデザイン交流会のことは、終わりました、次に、卒業式関係お願いいたします

#### **学校教育課長 中島 幹晃**

続きまして、2番は今年度の小中学校の卒業証書授与式についてでございます。お手元にお送りさせていただいた資料の中にごございますけれども、先ほど委員さん方がお越しになられた際に、個別にご予定等を確認させていただき、ご希望等も聞いておりますので、次回2月の教育委員会会議で、どなたがどの学校に行っていただくということと、告辞そのものもお渡しするように準備いたします。

今、ご欠席は、谷岡委員さんが中学校の3月7日がご欠席ということで、お聞きしていますので、その場合はこの下に書いてあります順番に代替者がもう準備してありますので、また今後、予定確認したら出られないというようなことがありましたらお知らせいただいたら、次回までに対応しますのでよろしくお願いたします。

それから、次の3番学力向上について、前回、市教委の今年度の後期の学力向上の実行計画をご説明しました。

教育委員さん方からそれを受けて各学校がどんなことを具体的にやろうと

しているのかというのも、市教委が持っているもので構わないので見せて欲しいというお話をいただきましたので、市教委が把握しているものをお示ししております。

学校別、小中別にこれが、実行できる計画にならないといけませんので、項目だけご説明します。

左から、まずは、次年度の8年度の具体的な目標を掲げている。

それから、その目標に対して2番目の項目として、どんな課題をみんなで共有するのかというところ、その課題に対して3番目、一番大事な授業をどう改善していくのか、具体的にどう改善していくのか。

そして4番目、一回の授業でみんなができるようになるということはありませんので、やっぱりそこをどう学び直しをするのかというのが次の欄になりまして、その他、それをどのような習慣にしていくのかというようなところを書いております。

この計画をもとに8年度、各学校が学力向上プランを立てていくということで、今度、研修主任とオンラインでつないでの、担当者の会議を持ちまして、次年度の計画を担当者に、立てる研修をする予定でございます。

以上でございます。

#### **教育長 南 順子**

今、課長のほうから説明がございましたけれども、令和8年度に向けた学力向上について、何か教育委員の皆様方からご意見、お気づき等ございましたらお願いいたします。

教育委員の皆様方には学校訪問では授業を、もう集中的に見ていただいて、本当に的確なご指導等もいただいております。

そういったことも含めて、この学校の計画といいますかそういうものについて、もっとここはこうした方が良いのじゃないかという突っ込んだ意見でも構いません。本当に先ほど井上教育委員がおっしゃいましたように、大きな課題でございますので、ぜひ、ここはこうしたら良いのじゃないかという改善点を含めての積極的なお気づき等もご指導もいただけたら大変ありがたいと思います。

#### **教育長 南 順子**

井上委員お願いいたします。

#### **委員 井上 敏雄**

改善点とかそういうのではないのですけれども、先月言ったように各学校ともやっぱ個別で違うので、その内容をちゃんとこういうふうに、分析してどう対処するかっていうことがきっちりされているので、それはすごく評価できるかなとは思っています。

要はこれが実践して結果が伴うかっていうのが、これから期待するところかとは思うのですけれども。

ぜひ、実践していき、結果を上げて行って欲しいかなと思っています。

内容については、僕らがともかくより学校側が一番よくわかっているのも、これが一番、最善策として出しているのだと思います。

ぜひ結果をね、作ってくれるとありがたいです。

### **教育長 南 順子**

ありがとうございます。

本当にやはり大事なことは、結果ということですので、しっかりその辺り学校の方にも伝えて指導していきたいと思います。

他に何かお気づきがございましたら。よろしゅうございますでしょうか。

どうもいろいろありがとうございました。

来年度、もう目の前でございますけれども、是非いい結果が本当に出るよう、一人一人の子どもに力がつくように、こちらもしっかりと伴走支援を今しっかり頑張ってくれておりますが、さらに、磨きをかけていきたいと思っておりますのでよろしく願いいたします。

それでは、4番目の件につきまして、はい、中島課長お願いいたします。

### **学校教育課長 中島 幹晃**

前回の教育委員会会議で先ほどの総合教育会議にも関わってくる、教育職員に関する業務量管理計画をお示ししました。

その時に、今までの時間外在校等時間の様子、推移等がわかるものというご意見いただきましたので、グラフになったものをお示ししております。

上が小学校、下が中学校です。

比較対象として、平成30年、部活動の地域移行が始まる前、コロナの前を一つ参考資料に載せております。小学校はもう平成30年に美祢市教委としては、業務アシスタントを学校に配置というような、業務改善はもうすでに進めておいたものです。

その時点で小学校も平均35という、まあまあの数字が出ておまして、さらに近年では、それが20台、令和6年は26.9まで下がっているというところで、30を切るという目標値をすでに到達している状況で、一方中学校の方が、コロナ前の平成30年に比べますと、57.9、業務支援員等が入ったのですが、まだ60近く平均であった。

これが、部活動改革が本格的に始まった令和5、6、7で、15時間ぐらい軽減されて、42、43まで落ちてきているという状況でございます。

完全に部活動の地域移行というのがまだできておりませんので、これが達成できると、もうちょっと落ちるといふふうに思っておりますが、30までという目標に向けて、もう少し教員の意識改革も含めて、見ていかないといけないと

いうデータでございます。

**教育長 南 順子**

今、説明がございましたが、何か教育委員の皆様方からご質問とかご意見お気づきがあればお願いいたします。

井上委員お願いいたします。

**委員 井上 敏雄**

先月も聞きましたけれど、中学校、特に中学校については、部活動に関する時間がすごく取られたってというのがもう見事に数字で出ているわけなのですが、部活動だけが足を引っ張っていたわけじゃ多分ないとは思いますが、先生の行う業務量を、減らしていかないと、トータル時間的にはいつまでたっても下がっていかないだろうと思います。

先生の数を増やせばいいっていう発想もあるのですが、多分それは減っていく方向になっていくでしょうから。

業務量の見直し等、IT化とかいろいろ短縮する手法はいろいろあるかと思いますが、もう一度、小学校も含めて、業務の内容、学校の先生としての業務の内容を見直す必要がもう1つあるのかなと思っています。

**教育長 南 順子**

ありがとうございました。

そのあたりよろしいですか。

**学校教育課長 中島 幹晃**

ありがとうございます。

今かなりAIの活用で短縮できる部分も世の中出てきておりますので、その辺りも入れていくということと、あとはやはり文科省が示している教員が担うべき、それから外部が担うべき、教員が担うのですが、外部がしっかりサポートすべきという大きく3つに分類されている表も示されていますので、そのあたりをこの度の計画の柱として推進して参りたいと思います。

ありがとうございます。

**教育長 南 順子**

他に、何かご意見お気づき等がありましたらお願いいたします。

**教育長職務代理者 金子 明美**

この計画ででしょうか。

**教育長 南 順子**

今ちょっと時間のことですが、時間の件につきまして、何か他の委員の皆様方からよろしいですか。

**学校教育課長 中島 幹晃**

今、金子委員さん、まさにおっしゃっていただいた計画の方のご意見があれば、ぜひ反映させていただきたいので、お願いできたらと思います。

**教育長職務代理者 金子 明美**

2ページのところなのですけれども、今回の計画は2つ、時間外、これから2ページ、これの2ページなのですけど、大きな項目としては、以前、時間外在校等時間に関する目標と、それからワークライフバランスや働きがい等に関する目標ということで、2つ大きな項目だと思って見させてもらいました。

それで、ちょっと気になったのが2点目のワークライフ、資料をお持ちですかね。

**教育長 南 順子**

ごめんなさい。

金子委員さん、すみません。今の話はこれですね。

前回お配りしたのですが、今お持ちでいらっしゃいますかね。

すみません。だから、一部これはどうぞ。いや、私はありますので、同じのもう1枚。ちょっと資料が揃うまで順番を変えさせていただいて、あと金子委員さん、よろしくをお願いします。資料が整う前に、先に5番の方の資料、よろしくをお願いします。

中島課長。

**学校教育課長 中島 幹晃**

大変失礼いたしました。

すぐ参りますので、これも前回、不登校に関するアンケートを外部に委託して実施いたしましたというお話をさせていただいて、ちょっともう少し詳しいことが知りたいというご意見いただきましたので、全体の報告書をお送りした資料の中に入れておりませんか。

これが全体像になっておりまして、先にご質問あったところの項目を申し上げますと、2枚めくっていただいて、右側、スライドの右下に9、10と書いてあるところを、松本委員さんにご質問いただいて、上のスライド9はですね、学校の授業は難しいですかという質問に対して、3つ棒グラフがございしますが、一番上の不登校の、お子さんは一番下の定期的に登校できているお子さんよりも、右斜め下に斜線のとても難しいというのが、13.35%で、3.3%の定期登校のお子さんに比べると、4.1倍いましたというところがございます。

同じく下の10ページ、これはですね、友達に何かをされたり言われたりして、

嫌だなど感じたとき、そのことを先生に話しますかという質問で、一番上の不登校のお子さんの特色としてはですね、この黒いところが多くございますが、これは大きなことでなければ話さない、そういうお子さんの傾向が多い。

左側の斜め斜線は、いつも話すようにしている。だから、結構不登校のお子さんはいつも話すようにしているが、大きなことでなければ話さないお子さんが一番割合としては多い。

そして、特徴的なのが右側の2.7%のところなのですが、誰にも話さず自分で解決しようとする子は非常に少ない。

不登校のお子さんはですね、逆に下を見ていただくと、定期登校のお子さんは誰にも話さず自分で解決しようとする割合が、不登校のお子さんの6倍、このあたりが、一見矛盾しとるように見えるのですが、よくよく考えると不登校のお子さんの傾向っていうのが、少し詳しくわかるグラフになっているのではないかと、歯を食いしばって自分で頑張って試行錯誤して自分で何とかするという力は少し弱いけれども、あんまり話さないっていう子が多くて、でも結構サポートが行き届いている不登校のお子さんにはいつも話す相手が、というような、状況がよくわかると思います。

ご質問があったところは以上なので、またお気づき等がもし、今日でなくても構わないので見ていただいたらと、この報告書が活かせるように、来年度のいじめ不登校の協議会等を開催して参りたいと思っております。

以上です。

### **教育長 南 順子**

大変すみませんでした。

資料がお手元に届いてないということで、松本委員さんのご質問につきまして今、課長がお答えしましたけれど、またこれ実際に見ていただくといろいろなところで、委員の皆様方からご意見を聞けたのではないかと思います。

それはまた次回ということで、ぜひこの資料も、申し訳ございませんが次回にご持参していただきたいということで、今度は前に戻りますけれども、業務改善計画の方に移らせていただきます。

それでよろしゅうございますでしょうか。

金子委員さんお願いいたします。

### **教育長職務代理者 金子 明美**

小さいことなのですけれども、本市の(2)2ページの各本市の現状のところ、在校等時間の管理ということで、表が作ってあると思います。

それで、美祿市の現状はこうですよっていうふうにしてここは述べられていて、2つ目の項目のところの現状は書かれていて、令和7年度は11%だったっていうふう目標期間のところ、書かれていますよね。

それが本市の現状かなって思ったのですが、目標を0%に近づける。だから現

状としては2つの項目はこうとこうですよということで、目標がこうとこうですよって、とした方が見やすいのかなってちょっと思いました。本当小さいことです。

#### **教育長 南 順子**

ありがとうございました。

貴重なお気づき、事務局のよろしゅうございますでしょうか。

#### **学校教育課長 中島 幹晃**

(2) 2の本市の現状の方にR7、11%というあたりを上手に入れ込んで、すみ分けがちゃんとできるように、はい、ありがとうございます。させていただきます。

#### **教育長 南 順子**

この件につきまして、他の教育委員の皆様方から何かご覧になられてのお気づきとかご意見がありましたら、お願いできたらと思います。

よろしいですか。はいどうぞ。

#### **教育長職務代理者 金子 明美**

4ページのところの、これを美祢市らしさが出ているなって思ったのが、4ページの(2)の④のイの項目です。

ここで公設塾minetoのスタッフ、それから教育魅力化推進委員という、本当美祢市らしさをしっかり出されているなっていうことを思いました。それと、6ページのところで、6ページの③メンタルヘルス対策事業についてというところで、全教職員対象でストレスチェックを実施すると、その結果をふまえて職場環境の点検を推進しますっていう項目が、ストレスチェックを実施して、教職員面談がありますよね、定期的にこれをやっていますよね。この辺でこのストレスチェックを参考にして、その教職員面談での対話とかいうのを、教職員面談というのがどこかに入らないかなと思いました。

それからもう一つ、職場環境の改善というのも入らないかなというのも、2番目のところで面接指導というのはこれ、産業医さんとの面接ですよ。

なので、でも、これは該当の時間を超えた職員対象の面接指導なので、ストレスチェックをしながら、日々教職員面談等をしてしながら対話していきますっていうあたりができないかなって思いました。

#### **教育長 南 順子**

ありがとうございました。

今、金子委員さんのお気づきは6ページの(4)の③メンタルヘルス対策事業の実施というところで、1番目の全教職員対象にストレスチェックを実施し、そ

の結果をとというふうになっていますが、その間に教職員面談という言葉を入れるということですね。言葉じゃなくて、教職面談をするということ。

その結果を活用して、職場環境の改善ということで下の面接指導とはちょっと違って、やっぱり面談を丁寧にするという、そういう配慮ということで、この言葉を入れるというご意見でしたけれど、他の委員の皆様方がでしょうか。

そのあたりよろしゅうございますでしょうか。

ありがとうございました。

事務局のよろしいですか。

### **学校教育課長 中島 幹晃**

ありがとうございました。

教職員面談管理職によるラインケアあたりを入れさせていただこうと思います。ありがとうございました。

### **教育長 南 順子**

他に何かございませんでしょうか。

はい。井上委員お願いいたします。

### **委員 井上 敏雄**

内容的に明確に教員が行うべき業務、それ以外の業務というふうに明確になっているので、これをもらった先生方は非常にわかりやすいと思うんですけど、要は教員が絶対行わなきゃいけない業務としていっぱい書いてあるもの、これをじゃあ誰がするのかっていう話ですよ。

後ろの項目書いてありますけども。

学校、小学校・中学校の学校の大小にかかわらず、それをやってもらえる補助員っていうかそういう方を全員配置できる前提で、これが始まるわけですから、そういう計画が来年度出されているって考えていいのですかね。

じゃないと、結局それをやってもらう人がいないから、じゃあ私がやりますみたいなことになりかねないので、そういう人員配置ができるのですかね。

### **学校教育課長 中島 幹晃**

ありがとうございます。はい。

### **委員 井上 敏雄**

概略でも、例えば部活動を地域移行にしたら中学校が、大体何時間ぐらい減るといふ予測は大体できるのですかね。

要はそれ、それをしてでも多分足りないからプラスアルファしていかなきゃいけないという話になるわけだと思うのですけれど、来月で構いませんので、

どのぐらいは下がる予定だって予測をお知らせいただければありがたい。

### **学校教育課主幹 渡壁 誠**

学校業務支援員、業務アシスタントさんとかいろいろ呼び方があるのですが、かなりキーマンになろうかと思うのですが、けれども。

全校配置っていう形で国が基準を示しているのですが、なかなか実際の運用になると、何クラスの学校にはとか補助金の上限がありまして、結局美祢市のような所、小規模校ばかりになると、1人の割り当てがないのです。

県、国、市で分割してその支援員の、費用を捻出しているのですが、美祢市が単独で、足りないところはつけるということはできないことはないのですが、なかなか難しくて全校配置ではあるのですが、美祢市であれば、簡単に言うと0.5人ずつしかつけられないような状況になっています。ですから、14校あるのですが7人しかつけられないということで、それから半分ぐらいの午前中4時間の半分、週2日と週3日みたいな形。

でもそうすると、大嶺小中はそうは言っても多いので、まるまる1日行ってもらおうということになると、小さい学校がもっと少なくなるっていうような、現状はあります。全校配置はできていると言えはできているのですが、そのような悩みは、実際の運用上はございます。

### **教育長 南 順子**

大変苦しい内情でございますが、そういう状況です。本当にいや本当に。ありがとうございました。

### **委員 井上 敏雄**

そういうところに市の予算を措置すればと思いますけれどね。

### **教育長 南 順子**

ありがとうございました。

他の委員さんからも、何かご意見はよろしいですか。

お願いいたします。

### **委員 谷岡 奈美子**

すごく素朴な疑問なのですが、1ヶ月時間外在校時間が80時間を超えている先生って実際にいらっしゃるんですか。

### **学校教育課長 中島 幹晃**

いらっしゃいます。

少ないのは少ないですし、我々みんなそうですけれど、働き方のくせみたいなのがありまして。どうしても納得のいくまでやりたいとかですね、そういっ

たタイプで結構繰り返し80時間を超えられる先生、希望されれば産業医面談を受けられるとか、管理職が月に一回ぐらいはどうかねっていうことで、仕事の内容を少し変えたりとか、工夫したりとか、いうことをしてはおるところですが、なかなかゼロには。少数ですがございます。

#### **教育長 南 順子**

何かございましたら、お願いできたらと思いますが。

よろしいでしょうか。

すみません。時間も結構延びておりますので、また何かございましたらこれが本当に総合教育会議の議題として大変重要なものになってきますので、ぜひ次回にでもまたお気づきをお聞かせ願えたらと思います。

私、最初にこの文科省のをお配りした時に、これは毎回と言いましたが、実はこれも毎回ということで、すみません、申し添えさせていただけたらと思います。

大事なことです。本当に環境整備、教育、働き方改革ということが大きなこれからの課題になっていますし、これが本当に子どもたちのよりよい教育に繋がっていくということなので、いろいろ教育委員会会議でもまた取り上げたいと思いますので、この2点の資料につきましては、恐れ入りますが、また次回も続けて御持参の方よろしくお願いできたらと思います。

それでは、学校教育課からの報告等よろしゅうございますでしょうか。

続きまして、生涯学習スポーツ推進課、お願いいたします。

#### **生涯学習スポーツ推進課長 千々松 雅幸**

生涯学習スポーツ推進課からは、令和8年美祢市二十歳の集いについてご報告しようと思っておりますけれども、もう冒頭、教育長が報告されたとおりであります。

#### **教育長 南 順子**

ありがとうございます。大変申し訳ございません。

課の報告をとってしまいました。

それでは、文化財保護課よろしゅうございますか。

#### **文化財保護課長 神田 高宏**

文化財保護課からは、報告ありません。

#### **教育長 南 順子**

続きまして、世界ジオパーク推進課、神田課長お願いいたします。

#### **世界ジオパーク推進課長 神田 高宏**

世界ジオパーク推進課からは、先ほども少し触れましたが、ジオパークイベントの第5回「スミを使ってイモを食う」というイベントの報告をさせていただきます。

1月の18日の日曜日に、大嶺町奥分の森の駅で第5回「スミを使ってイモを食う」を開催いたしました。

このイベントは、サツマイモを通して地形、地質や気候による農作物の味の違いや、サツマイモを無煙炭で焼きイモにすることで、大嶺炭田の無煙炭や、そのでき方、無煙炭ができた当時の環境、地球の活動などを参加者に知っていただき、ジオパークをわかりやすく伝えるイベントとなっております。

イベントは、ジオサイト桃ノ木露天掘り跡を中心に活動されておりますボタツ子クラブの皆さん、またジオガイドの皆さんのご協力のもと開催いたしております。

ボタツ子クラブの皆さんには、無煙炭や有煙炭の準備、また前日からの焼きイモ準備、当日の無煙炭、有煙炭の燃焼実験や、参加者のピザを焼くなどのサポートをいただいております。

ジオガイドの皆さんは、化石観察のサポートやそれぞれ工夫を凝らしたパネルを使いまして、参加者に、わかりやすく大嶺炭田の無煙炭や美祢層群の植物化石や昆虫化石について説明をしております。

今回のイベントでは、美祢市美東町のサツマイモと宮崎県と鹿児島県にまたがる霧島ジオパークのサツマイモで食べ比べを行っております。

この「スミイモ」のイベントは、申し込み開始当日で定員に達する人気のイベントとなっております。

イベント後の振り返りでは、もう少し定員をふやせないかとの意見もございました。

このイベントは地域の方々、ジオガイド、事務局が一緒になって行うとても良いイベントと考えております。

今後も参加者の定員を増やすことも考えながら、よりよいイベントにしていきたいと考えております。

以上です。

## 教育長 南 順子

はい、ありがとうございました。

ただいまのジオパークイベント「スミを使ってイモを食う」の報告につきまして、何か教育委員の皆様方からご質問や、ご意見等ありましたらお願いいたします。

谷岡委員さんはこれには参加されて、何かご感想とかがありましたら、すみません。

## 委員 谷岡 奈美子

今回は小さいお子さんがあまりいらっしゃらなくて、前は結構小学生の親子連れの参加が多かったように思うのですけれども、このたび大人の方がとても、多かったという印象です。

やっぱりみんな市の方も結構来られていたと伺っています。はい。

いろいろな方に興味を持っていただいて、いろいろ楽しく、無煙炭についてのお話等もサポートさせていただいたりとか、楽しく参加させていただきましてありがとうございます。

#### **教育長 南 順子**

ありがとうございました。

本当にこういうイベントが、回を追ってまたいろいろな方がリピーターにもなられると思いますので、またさらに充実したものになりますようにということで、よろしく願いいたします。

他に何かご意見等ありませんでしょうか。

### **7 教育委員からの提案及び意見**

#### **教育長 南 順子**

ありがとうございました。

それでは一応、協議報告は終わりました。何か教育委員の皆様方からのご提案とか、意見とか全体を通じて結構でございます。

ありましたらお聞きしたいと思いますが、よろしゅうございますでしょうか。大変ありがとうございました。事務局の方にお返ししたいと思います。

### **8 次回の教育委員会会議の開催予定**

#### **事務局長 千々松 雅幸**

それでは、2月の定例会議についてであります。

2月の教育委員会会議は、2月26日木曜日13時半からここ301会議室で行いたいと思いますがよろしいでしょうか。

#### **<全員了承>**

#### **事務局長 千々松 雅幸**

ありがとうございます。

時間の方ですけれども、次回は教育委員会会議終わった後に総合教育会議に向けて、その議論の視点であるとか、着地点であるとか、その役割分担等についてご協議いただく時間をしっかり持ちたいというふうに思っておりますので、その予定で来ていただければなというふうに思っております。

今後の予定については、3月26日であります。

**学校教育課長 中島 幹晃**

昨年もさせていただいたのですが、ちょうどこれが教職員人事の時期に、なりますので、教育委員会会議の後に臨時の、教職員の人事異動についての会議をなるべく短時間でできるように準備をいたしますので、入れさせていただいたらと思っております。

時間をまたいただくようになろうかと思えます。

**閉会**

**事務局長 千々松 雅幸**

それでは以上をもちまして1月の教育委員会会議を終わりたいと思います。

大変お疲れでございました。

ありがとうございました。

**(午後2時40分終了)**

令和 年 月 日

教育長

委 員

委 員

会議録作成